

※この文章の全部、または一部を了承なく複製、使用することを禁じます。

【アトピー】

1. アトピーの原因

アトピーの原因は、大きく2つに分けることができます。

ひとつは、アレルギー物質によるものです。これには、食べ物やダニなどが挙げられます。もうひとつは、アレルギー以外のことが原因となっている場合です。これにはストレスや乾燥肌などがあります。

大人と子供では、アトピーの原因が異なることも多くあります。子供の場合は、多くの場合でアレルギー物質が原因となっています。アレルギーを起こす食べ物には卵や牛乳、大豆、小麦、米などがあります。卵アレルギーの場合、原因は主に卵白にあります。牛乳アレルギーの場合は牛乳を含む乳製品、例えばバターやチーズなども原因となることがあります。そして大豆アレルギーですと、豆腐や味噌などの大豆を含む製品にもアレルギー反応を起こします。小麦アレルギーも同様に、パンやうどんなどの小麦製品にアレルギー反応を起こします。

大人のアレルギーは、環境が原因となることが多くなっています。そのひとつがハウスダストです。ハウスダストとは、家のほこりのことです。そのほかにもダニや花粉、ペット、ホルムアルデヒドなどの化学物質が影響することがあります。

そのほか、アトピーにはアレルギー以外にも原因があります。衣服を洗濯しないで着たり、汗をかいたままにしておくと、アトピーになりやすいという傾向があります。手が汚れている状態で皮膚を触ったりすることも原因となります。そして、乾燥肌や不規則な生活もアトピーの原因になります。アトピーには実に様々な原因があるのです。

2. アトピー症状

アトピー症状は、突然にひどい痒みが生じたり、皮膚の炎症が起きるわけではありません。最初は顔の皮膚がかさついたり、耳のつけ根の部分が切れたりするような症状が現れます。そして背中や脚、腕など、身体のあちこちの皮膚がかさつくという症状が生じてきます。乳児の場合は、顔の皮膚や口のまわりなどに、ただれのようなものができることもあります。

アトピーが悪化するきっかけには、様々なものがあります。あせもや虫さされもきっかけになります。また、肌に異常を起こしている場合に、適切な診断を受けることもなくステロイド剤を使用することも、悪化の原因になります。

そのほかにも、アトピーは様々な要素が絡み合って悪化していく傾向にあります。ダニやほこり、大気汚染、ストレスなどが原因となります。原因はひとつではなく、様々な因子が絡み合って症状を引き起こすこともあります。ステロイドがアトピーの治療にはよく用いられますが、アトピー症状だからといって頼るのではなく、本当に必要な場合にのみ用いなければなりません。安易に用いることによって、患部が赤くなり次第に広がっていきます。そして、激しいかゆみに襲われることにもなるのです。

アトピーの症状を発している場合、細菌やウイルスに感染しているということも考えられます。そういった場合は、ステロイド以外で治療しなければなりません。アトピー症状には、かさぶたが見られる点などで、ほかの湿疹とは異なるものがあります。あまりに痒いためにかきむしってしまい、出血することもあります。